

地域ケア会議に関することについて

基本方針 3 (4) 地域ケア会議の推進

地域の課題を把握し、地域づくり・資源開発などにつなげていくため、地域包括ケアシステムの実現に向けた一つの手法として、地域ケア会議を開催しています。

<地域ケア会議の取り組み内容>

*市が行う地域ケア会議として、高齢者あんしん相談センターが担当し作成している要支援者や事業対象者の方のプランに対し、自立支援に資するケアマネジメント支援を行う「介護予防支援地域ケア会議」を定期的を開催しています。

*各圏域で行う高齢者あんしん相談センター主催の地域ケア会議として、個別ケースの課題分析を通して地域課題の解決方法を検討する「地域ケア圏域会議」を年3回実施しています。介護支援専門員の自立支援のケアマネジメントの実践力を高めるものとして、「地域ケア個別会議」も年3回実施しています。

*令和元年度末（2月以降）の地域ケア会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できませんでした。

①【介護予防支援地域ケア会議】（単位：回）

区分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
開催回数	12	12	12

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開催回数	10	11	9	12	12	12

<現状> 高齢者あんしん相談センターが担当し作成している要支援者や事業対象者の方のプランに対し、市が毎月主催し、自立支援に資するケアマネジメントとなるよう、多職種が参加し助言する介護予防支援地域ケア会議を開催している。

【課題】 自立支援に資するケアマネジメントとなるよう議論を行っているが、その後の支援経過を十分追えていないこと、評価ができていないことが課題である。

②【地域ケア圏域会議】

(単位：回)

区分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
開催回数	15	15	15

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開催回数	15	12	15	15	15	15

＜現状＞個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化し、共有された地域課題の解決に必要な資源開発や地域づくり、政策形成につなげる目的で、各高齢者あんしん相談センターが年3回主催している。医師、薬剤師、民生委員、ケアマネジャー、社会福祉協議会、市ケースワーカー、生活支援コーディネーター等の関係者が出席し、地域のニーズに合わせた高齢者支援が充実していくよう取組んでいる。

【課題】個別課題の議論により、顔の見える関係づくりはできているものの、資源開発や政策形成までには至っていない。

③【地域ケア個別会議】

(単位：回)

区分	第7期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度
開催回数	15	15	15

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画推計値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開催回数	15	14	10	15	15	15

＜現状＞高齢者の個別課題の解決を図るとともに、ケアマネジャーの自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高めるものとして、各高齢者あんしん相談センターが年3回主催し、多職種が参加し助言する地域ケア個別会議を開催している。

【課題】自立支援に資するケアマネジメントとなるよう検討し、助言や提案を行っているが、支援計画やサービスの見直しなどその後の経過を十分追えていない事例がある。